



©武藤 章

## 伊藤 恵 (ピアノ) Kei Itoh Piano

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。エピナール国際コンクール、J.S.バッハ国際音楽コンクール、ロン＝ティボー国際音楽コンクールと数々のコンクールに入賞。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ部門で日本人として初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響(現 hr 響)、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演などに出演。日本では「若い芽のコンサート」でN響との共演をはじめ、各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍を続けている。CD の代表作は、シューマン・ピアノ曲全曲録音「シューマニアーナ 1～13」。2007 年秋には全集完成記念コンサートを行った。さらに、2008 年にリリース

を開始した「シューベルト ピアノ作品集 1～6」は 1 作ごとに注目を集め、第 6 集は 2015 年度レコード・アカデミー賞、第 70 回文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。最新盤の「ベートーヴェン ピアノ作品集1」(フォンテック)は、レコード芸術特選盤を獲得。また、サイトウ・キネン・フェスティバル松本はじめ武生国際音楽祭、軽井沢音楽祭、リゾナーレ音楽祭、東京・春・音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどに参加。1999 年から 2006 年までの 8 年シリーズではシューマンを、2008 年から 2015 年 4 月までの新たな 8 年シリーズではシューベルトを中心としたリサイタルを開催し好評を博した。2018 年からはベートーヴェンを中心としたシリーズを開始。1993 年日本ショパン協会賞、1994 年横浜市文化賞奨励賞受賞。2018 年ジュネーヴ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。